立花生徒会新聞 Forsythia

Forsythia（フォーサイシア）の意味「希望」を明るく前向きに考えられる学校

第1号　平成30年1月17日　木曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

決意表明

一月二十日は大寒ということもあり、一年で最も寒さが厳しい季節が訪れようとしています。十二月には新生徒会執行部のメンバーも決定し、今月より本格的な活動も始まりました。私達が生徒会執行部に入れたのは投票してくれた生徒の皆さんのおかげです。立花中学校の伝統を大切に、学校がより明るくなるように引っ張っていきたいです。選んでもらえた感謝の気持ちと選ばれた責任感を持って、皆さんの期待に副えるように頑張ります。よろしくお願いします。

執行部は、一年を通して主に毎朝の校門での挨拶運動や朝礼の進行、毎月の委員会の企画と進行、生徒会新聞の作成、発行を行っています。新執行部は、先述した中でも朝の挨拶運動を大切にしたいと考えています。私達は一年間の活動を通してこの学校を「明るく前向きに考えられる学校」に少しでも近づけたいと思っています。そのために毎朝の挨拶運動で「心の扉を開く」という意味のある挨拶を率先して行い、それによって多くの生徒が積極的に挨拶できる学校にしていきたいです。そうなることによって学校全体が明るくなると思うからです。また挨拶は立花中学校の伝統でもあります。挨拶を含むこれまでの先輩方が引き継いできた伝統を、この先も引き継ぎ更に良い立花中学校にしたいです。

突然ですが、野球やサッカーなどのチーム競技で皆さんは何が一番大切だと思いますか。私は協力し合う精神だと考えています。技術も大切かもしれませんが誰か一人でも「少しくらい手を抜いても大丈夫」などと考えているとチームは一つにはなりません。一人一人の力は小さくても全員の力が集まれば、大きな力が発揮できます。昨年の学校行事が無事成功したのも、全校生徒が一つになり協力し合った結果です。そして、生徒会は全校生徒で構成されている組織です。全校生徒の皆さんの協力がなければ生徒会は成り立ちません。新生徒会執行部はこれから一年間、それぞれが選挙で掲げた公約を胸に精一杯頑張ります。ご協力よろしくお願いします。

避難訓練

突然ですが、皆さんは一・一七という言葉に聞き覚えはあるでしょうか。

二十四年前の今日、五時四十六分ごろマグニチュード7・3の阪神・淡路大震災という非常に大きな地震が起こりました。その、阪神・淡路大震災では多くの犠牲者を出し火事や建物の倒壊などで甚大に被害となったという事を多くの人が知っていると思います。最近では、熊本地震や北海道胆振（いぶり）東部地震。私達も体験した大阪北部地震などの大きな地震も起こっています。さらに、南海トラフ巨大地震などのこれから何十年後かに起こるとされている大地震もあり私達は常に地震と隣合わせで生きています。だからこそ必要かつ重要になってくるのが、避難訓練なのです。

まず、避難訓練は何のためにあるのか分かっていますか。避難訓練というのは、もしも地震が起こった時にどうすれば自分の身を守れるのかを練習するためにあるものです。大きな地震が起きた時、生死を分けるのはいかに冷静な判断が出来るかです。ですが、いざ地震が来た時に冷静な判断をし行動に移すのは簡単な事ではないと思います。冷静な判断をするためには経験や慣れが必要になってきます。その、経験や慣れを培うために避難訓練はあるのではないでしょうか。中には「避難訓練なんて所詮訓練だから。」と、不真面目に避難訓練を行っている人はいませんか。地震というのは、いつ起こるか分かりません。もし、地震が起きた時に日頃の避難訓練を真面目に行っていれば避難訓練で学んだり経験した事が沢山活かされると思います。避難訓練は自分の為にあるという事を忘れず、いつ地震が起こっても冷静な判断が出来るように真面目に取り組むようにしましょう。

そして、この機会に家族と地震が起きたらどこに避難するかを話し合ったり、避難バッグの準備をしたり、家具の固定をしたりと、できる事は沢山あると思います。備えていれば役に立つ事は多くあると思うので、家族と色々な事を見直してみたり、家族の方に阪神・淡路大震災が起きた時の事を聞いたりするのも良いと思います。

新学期について

新学期が始まり、約二週間が経とうとしています。皆さんは冬休みをどのように過ごしましたか。健康で安全な冬休みを送ることが出来たでしょうか。

「もう三学期なのか」と思い、一年は早いと感じている人も少なくはないと思います。三学期は三年生の皆さんにとって、卒業後の自分の将来に向けての準備期間だと思います。そして一、二年生にとっては進級の準備をする時期でもあります。一年生は二年生に、二年生は最高学年、そして受験生になります。一、二年生は、新一年生にとって良い手本になるように努めていきましょう。三年生の皆さんが卒業されると、次は一、二年生が立花中学校を引っ張っていくことになります。全校生徒で協力し合い、より良い立花中学校を作っていけるように今から引き継ぐ準備をしていきましょう。三年生の皆さんは、すでに進路も決まり、そろそろ受験勉強も大詰めに差し掛かってくる時期かと思います。そして三学期には学年末考査、卒業証書授与式などの行事もあり、忙しくなってくると思いますが、その忙しさに負けずに頑張ってください。

「努力は必ず報われる」という言葉があるように何事にも励めば、結果は必ず付いてきます。これは学習面だけに限らず、部活動や校外での習い事などにも言えることだと思います。それ以外にも、入試やその他の新しい環境への挑戦の舞台でも言うことが出来ます。三年生皆さんは今まで積み上げてきた勉強の成果を、挑戦の舞台で思う存分に発揮出来るように頑張ってください。一、二年生もこれまでの勉強や部活動などでしてきた努力を信じて、続けてみてください。きっと報われるはずです。

また、冬休みが終わり一月も中旬に差し掛かって、ほとんどの人が早寝早起きの感覚が戻ってきている頃だと思います。しかし、中にはまだ冬休みの感覚が戻っていないという人がいるかもしれません。そんな人は少しでも早く寝て、朝起きる時のために目覚ましをセットして寝るなど規則正しい生活を心掛けましょう。

タイトルについて

新たな生徒会新聞「Forsythia」（フォーサイシア）が始まりました。今回の新聞のタイトルである「Forsythia」は、私たち新執行部で全校生徒の皆さんにこの一年間をどのように過ごしてもらいたいかを考え、一人一人意見を出し合って決めました。

「Forsythia」とは、英語でレンギョウの花のことを意味します。レンギョウの花言葉は「期待」「希望」「集中力」の三つがあります。春の初めに鮮やかで、可愛らしく小さい花を枝一杯に咲かせることから、希望に満ちた花言葉がつけられたそうです。これらの花言葉一つ一つの意味が全校生徒の皆さんに当てはまるのではないでしょうか。一年生は小学校から中学校に進学し、新しい生活に対しての「期待」があったと思います。また、四月からは先輩になるので初めての後輩ができるという「期待」。二年生は最高学年になり四月から立花中学校をと引っ張っていくという「希望」。三年生の皆さんには入試を目前としさらに必要となってくる「集中力」。私達はこのように考えました。

そして、三つある花言葉のうち、私たち新執行部は「希望」という言葉に注目しました。レンギョウの花言葉の中の「希望」には、「叶えられた希望」という意味があります。叶えられたというのは実現した希望という意味です。こういった意味を持つ「希望」という言葉からこの立花中学校を「明るく前向きに考えられる」学校にしていきたいと思い、このタイトルに決定しました。全校生徒が「明るく前向きに考えられる」ようになれば自分自身の新しい挑戦や成長に繋がり、立花中学校がさらに明るくなり、行事などの活動が活発になるのではないでしょうか。

そして、希望を持ち明るく前向きに考えることで、去年よりもさらに一年が充実した明るいものになると思います。今年も、全校生徒の皆さんが明るく前向きに考え、さらに大きく成長できる学校になれば良いなと思います。新生徒会新聞「Forsythia」を、どうぞよろしくお願いします。

編集後記

明けましておめでとうございます。新年を迎え、街には冷たい空気が流れ、寒さも厳しくなってきました。うがい手洗いや換気をするなどの風邪予防をし、体調には十分気をつけて過ごすようにしましょう。

本年もよろしくお願いします。（西村・前田・加藤・小田ヒ）